



2026年4月27日  
五十嵐冷蔵株式会社

## 経済産業省が AMEICC に拠出して行われる 「グローバルサウス未来志向型共創等事業」に採択 ～ ベトナム冷蔵倉庫における DR 技術の運用実証事業 ～

五十嵐冷蔵株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：五十嵐 隆晴、以下「当社」）は、経済産業省が AMEICC に拠出して行われる「グローバルサウス未来志向型共創等事業」において、当社の「ベトナム国／冷蔵倉庫における DR 技術運用実証事業」が採択されましたのでお知らせいたします。

### 【事業の背景と目的】

ベトナムでは、急速な経済成長に伴って電力需要が拡大しており、再生可能エネルギーの導入促進と電力供給の安定化が重要な課題となっています。本事業は、冷蔵倉庫へのデマンドレスポンス（以下「DR」※）技術の活用により、ベトナムにおける電力需給バランスの改善と将来的な DR 制度構築に向けた実証を行うものです。

具体的には、24 時間 365 日稼働する冷蔵倉庫を電力需給の調整力として活用するため、エネルギーマネジメントシステム（EMS）を内蔵した高効率の自然冷媒冷凍機を導入、DR 指令に応じて消費電力を自律的に最適化することで、太陽光発電などの再生可能エネルギーを最大限に利用できる新たな運用モデルの確立を目指します。

なお、本事業は、当社における本技術に関する初の海外実証となります。

※ 電力の需給状況や再生可能エネルギーの発電量に合わせて、電力使用者（需要側）が電力の使い方を工夫することで、電力使用量を抑制する取り組み。

### 【政府支援の必要性と事業の意義】

本事業は、日本で実績を有する高度な省エネルギー冷凍機器とデジタル技術を活用し、ベトナムの電力供給安定化に資する具体的なソリューションを提示することを目的とした実証事業です。実施にあたっては、冷凍機器等の導入で 13.2 億円の初期投資を予定しています。

一方で、ベトナムにおいて冷蔵倉庫を活用した DR 技術の実証は前例がなく、技術面・制度面の両面で不確実性を伴います。このため、本補助金による資金面での支援が事業推進に不可欠となりました。なお、初期投資のうち補助対象経費は 7.9 億円、採択された補助金額は 5.3 億円です。

当社では、本事業を通じてベトナムにおける DR 市場の創出とエネルギーシステムの脱炭素化を促進し、同国全体の電力供給安定化に貢献してまいります。さらに、電力インフラ環境の整備を通じて、ベトナムの投資環境の改善や、日系企業の海外展開の後押しにもつながるものと考えています。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

五十嵐冷蔵株式会社 社長室 山岸

電話：03-3451-1111 E-mail：s.yamagishi@gorei.jp